KAIUN（海運） 1093 (2018年10月01日発売)
の目次

【特集】木質バイオマス輸送、需要拡大へ

長期安定的な調達に向けた新たな用船スキームを
●Argus Media Limited　日本支局　代表　三田 真己 氏

郵船グループの強みを生かし柔軟な顧客対応に自信
●NYKバルク・プロジェクト株式会社
　執行役員　鋼材グループ　グループ長　湯浅 光訓 氏
　執行役員　バルク第一グループ・第二グループ担当　津野 泰明 氏

最高レベルの船隊規模を維持し さらなる拡大を図りたい
●商船三井近海株式会社　専務取締役　営業本部長　関澤 圭介 氏

バイオマス輸送は外航の核 専任部隊で積極営業へ
●川崎近海汽船株式会社　常務取締役　杉本 利文 氏

総合商社のノウハウを生かし発電事業で存在感を高めたい
●丸紅株式会社　電力本部国内電力プロジェクト部
　副部長　山本 毅嗣 氏
（一般社団法人バイオマス発電事業者協会　代表理事）

【特別企画】
寄稿　貨物クレーム実務から見た商法改正
●一橋綜合法律事務所顧問
　元法制審議会商法（運送・海商関係）部会委員　石井 優 氏

【巻頭インタビュー】
次の事業展開に向けて楽しみな材料が揃ってきた
●NSユナイテッド海運株式会社　代表取締役社長　谷水 一雄 氏

【グラビア】
フィリピン商船大学MMMAの開学式典を開催
●商船三井

【PR】
―カーゴホールドコーティングの新常識―
「高硬度」でトータルメンテナンスコスト低減へ
●中国塗料株式会社

【寄稿】
雑感 コンテナ50年 原点回帰
●元海事記者　吉田 泰治 氏

＜シリーズetc.＞
波濤／竣工船フラッシュ／CLOSE UP／造船ニュース／NEWS Pick Up!／新刊紹介／
せんきょう（日本船主協会）／ブローカーの窓から／内航ニュース／
セミナー・研修講座のご案内／読者のひろば／スタッフ通信